

第 10 回教育研究審議会

議事概要

開催日：平成 25 年 9 月 25 日（水）

場 所：本部棟 3 階大会議室

出席者：加藤祐三学長、高田理孝副学長、椎廣行事務局長、浅川博理事、大平栄子学長補佐、清水雅彦学長補佐、田中昌弥学長補佐、阿毛久芳大学院研究科委員長、寺川宏之初等教育学科長、牛山恵国文学科長、竹島達也英文学科長、横田力社会学科長、伊香俊哉比較文化学科長
杉本光司地域交流研究センター長、新保祐司国際交流センター長、鶴田清司キャリア支援センター長、小林正人学生課長、重原達也総務課長

■挨拶

加藤祐三学長よりあいさつ

議 事

(1) 比較文化学科専任教員の昇任について（投票）

○担当より補足説明はなく、投票の結果、信任多数により承認。

対象者：（講師→准教授）

(2) 平成 25 年度非常勤講師の授業担当科目の更新・取消について

○担当より資料 2 に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

(3) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（共通教育）

○清水学長補佐より資料 3、3-1 に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

(4) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（国文学科）

○担当より資料 4、4-1、4-2、4-3 に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

(5) 非常勤講師の担当科目コマの発議・提案について（社会学科）

○担当より資料 5、5-1 に基づき説明、審議の結果、提案通り承認。

(6) 都留文科大学のさらなる飛躍に向けて

○担当より、資料 6 に基づき説明、審議の結果、継続審議となった。

*「さらなる飛躍に向けて」は中期計画と中期目標とも絡んでいる。まずは学内からできることをと考えている。経営にも関係してくるので、経営審議会でも審議事項となる。

1. 学部・学科、カリキュラム等の見直しの基本方針

4. 教員配置の基本方針

6. 大学 COC 事業の基本方針

8. 事務組織の見直しの基本方針

(7) 学生の懲戒に関する規則について

○担当より資料 7 に基づき説明、審議の結果、継続審議となった。

(8) プロジェクト C2 の設置について

○担当より資料 7 に基づき説明、審議の結果、継続審議となった。

- ・来年度から本格的に導入していきたいと考えている。

報 告

(1) 教職支援センターについて

○担当より資料 9 に基づき、教職支援センター（素案）を報告。

- ・原案は初等教育学科の意見を取り入れながら、原案を作成し教育研究審議会へ提案し教授会へ。11 月～12 月にかけて公募を行う予定。